

「令和２年度環境測定分析統一精度管理ブロック会議」開催要領

１．目 的

環境省が実施した令和元年度環境測定分析統一精度管理調査結果の評価や精度管理の問題点を議論することにより、地方公共団体試験研究機関等の環境測定分析業務の信頼性の確保と分析精度の向上を図ることを目的として開催する。

２．主 催

全国環境研協議会（精度管理部会）
環境省水・大気環境局総務課環境管理技術室

３．参加者

全国環境研協議会所属機関の環境測定分析に従事する職員
地方自治体において環境行政に従事する職員で参加を希望する者

４．開催日・場所

今年度調査結果に係るブロック会議は令和２年１２月頃に実施する。開催場所は例年通り５ブロックで開催するが、今年度についてはコロナ感染対策のため、Web 会議もしくは書面会議とする環境省、日本環境衛生センター、調査部会専門員は各所在地から Web で参加し、ブロックを構成する参加者はそれぞれの幹事県の取り決めに従って Web 会議に参加する。Web 会議室は環境省もしくは日本環境衛生センターが設置する。

(1) 北海道・東北ブロック（幹事県：新潟県）	書面会議とする
(2) 関東・甲信・静ブロック（幹事県：神奈川県）	12月23日(水)
(3) 東海・近畿・北陸ブロック（幹事県：愛知県）	12月18日(金)
(4) 中国・四国ブロック（幹事県：岡山県）	12月9日(水)
(5) 九州ブロック（幹事県：長崎県）	12月4日(金)

５．会議の内容

議事や構成などの内容は各ブロックの幹事県の要望に従う。参加者には事前に結果説明のビデオコンテンツを事前に視聴していただき、その内容についての質疑応答が中心とする。会議の際には、まず概略を各担当の講師から手短にご説明いただき（10分程度）、その後、質疑応答（10分程度）を行なう。

担当講師（専門員）の調整は、ブロック会議の日程が確定次第行なう。調査結果等に関する事前の質問がブロック会議参加者からあった場合には、該当する専門員等が回答を作成したものを、会議における資料とする。

次頁に議事概要の例を示す。

議事概要

事項	時間	担当機関
1. 開催の挨拶	5 分	開催機関の長 環境省水・大気局総務課環境管理技術室室長
2. 令和元年度環境測定分析統一精度管理調査結果について	5 分	調査実施機関（請負先）から調査結果の概要報告
3. 質疑応答 1	5 分	
4. 環境測定分析における留意点及び精度管理について (1) 土壌試料（鉛、砒素） 質疑応答 2 (2) 模擬水質試料（農薬） 質疑応答 3 (3) 底質試料（PCB、総水銀） 質疑応答 4	60 分	有識者 3 名（環境測定分析検討会統一精度管理調査部会専門員）による調査結果の報告（試料ごとに 10 分＋質疑応答各 10 分程度を予定）。分析上の問題点、分析結果に影響する因子等について具体的かつ重点的に解説。）
5. 質疑応答（全体）	10 分	
6. 次期開催機関からの挨拶	5 分	次期開催機関
7. 閉会の挨拶	5 分	開催機関

（備考）

1. 議事の作成、進行は開催機関が行う。
2. 開催時間は、全体で 1.5～2.0 時間以内を目安とする。
3. 開催に当たっては、都道府県、政令指定都市の環境行政担当部局からも参加者を募集する。
4. 上記は、ブロック独自の講演等を実施しない例で、独自の講演等を実施する場合には、例えば、上記に追加する又は表中のいずれかの講演と替えことも可能とする。

6. その他

会議の庶務は、全国環境研協議会（精度管理部会）が行う。

環境省水・大気環境局総務課環境管理技術室は、会議の庶務のうち、有識者及び調査実施機関担当者の会議への参加に関する事務を行う。